

きょうたなべ のうぎょう委員会だより

農業委員会
ホームページ→



No.81

平成31年3月15日発行
広報アイデア委員会

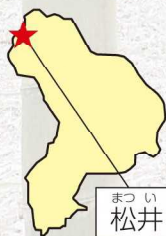
3

月号 2019



まつ い ち く ちく りん 松井地区の竹林

まつ い ち く ちく りん
松井地区の竹林は、
きょう た なべ し なか よ
京田辺市の中でも良
い タ ケ ノ コ が と れ る こ
と で 昔 から 有 名 で す。



ちく りん かん り て ま
竹林の管理は手間
が か か り 「傘 を さ し て 歩 け る 程 度」 に
ま び い て 管 理 し ま す。

は る し ゃ く た く い ろ ど し め ん み か く あ じ
春の食卓を彩る旬の味覚を味わ
える時期ですね。

竹林を管理する松井地区の
松井雅彦さん



今回のプレゼントクイズは、京田辺市でとれた新鮮な朝堀りタケノコです。

4ページ目に掲載

たなべのお酒

今日、京田辺市に造り酒屋はありません。しかし、昭和の時代には3軒の造り酒屋がありました。今回、その内の2軒を紹介します。

本市の造り酒屋の歴史

戦前より3軒の造り酒屋があったが、戦争により一時的に酒造中止となった。戦後再開したが、後に相楽郡山城町の1軒を含む4軒で集約製造会社となり、市外(旧田辺町外)へ拠点が移った。



北川酒造

田辺地域 銘 吹井鶴



棚倉彦神社前

吹井鶴

明治10年頃から昭和39年まで、田辺地区にある棚倉彦神社の向かいで北川氏が酒造していた。蔵は、6つの大樽が並ぶ長大なものだった。

棚倉彦神社のそばで湧くきれいな水を使用し、御神酒としても献上されていた。

まったり甘めで爛酒にぴったりの味わい。地元の人々の食卓にもあがる馴染み深い存在だった。

現在も、当時使用されていた井戸が神社の脇に残っている。



現存する井戸

北川酒造

田辺地域 銘 吹井鶴

岡井酒造

飯岡地域 銘 観菊

村上酒造

三山木地域 銘 正白龍

※現在は全て廃業されています。

村上酒造

三山木地域 銘 正白龍



現在の様子

JR同志社前駅南側

正白龍

吹井鶴と同じく昭和39年まで本市内で酒造りをしていたが、当時、米の自主流通米制度を使い合併することで、酒造量を増やすことができたため、4社合同での酒造りに切り替え、拠点を山城町に移した。

移った後も、この地の水は良質であったため、山城町まで運んで使用していた。井戸は水が涸れてしまったため現存しない。



当時使われていた道具

本記事は、聞き取り取材によるもので、年数等に誤差がある可能性がありますのでご了承下さい。



ブルーベリー畑の説明を聞きました。

ブルーベリー畑を5万5000㎡まで拡大させ、自社のジャムやパスタなどを開発・販売されました。ひとりの主婦が始めた農業が、

7000㎡の無農薬ブルーベリー畑を5万5000㎡まで拡大させ、自社のジャムやパスタなどを開発・販売されました。ひとりの主婦が始めた農業が、

こちらの会社、代表の西下氏は女性です。農業を始めてから、観光農園開設・商品開発・加工品販売に至るまでを講演いただきました。

西下氏は子育てをしながら、7000㎡の無農薬ブルーベリー畑を5万5000㎡まで拡大させ、自社のジャムやパスタなどを開発・販売されました。ひとりの主婦が始めた農業が、

11月7日、農業委員会の委員は、静岡県菊川市にある観光農園「ブルーベリーの郷」を視察しました。

こちらの会社、代表の西下氏は女性です。農業を始めてから、観光農園開設・商品開発・加工品販売に至るまでを講演いただきました。

視察研修

ブルーベリー畑と女性社長に学ぶ



興村 義久 委員



ホームページでネット販売もされています。

豊かな老後生活のために 加入しませんか 農業者年金

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
 2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
 3. 保険料の国庫補助
 4. 保険料は2万円から自由に選択可能
 5. 税制面で大きな優遇
 6. 80歳までの保証がついた終身年金
- くわしくは農業委員会事務局まで



家族・非農家も楽しめる新聞。

全国農業新聞は、農業の最新情報を提供。農業全般の情報や地域の明るい話題なども紹介し、ご家族や非農家も楽しめます。

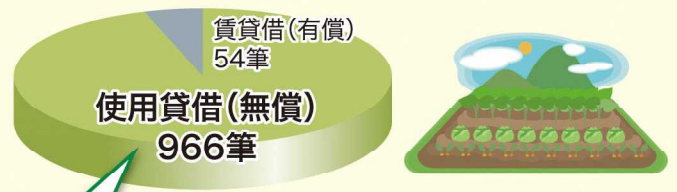
■毎週金曜日発行 ■B3版8頁
10ページ ■月額700円(送料、消費税込) ■購読のお申し込みは、農業委員会事務局へ ■発行所：全国農業会議所

全国農業新聞

農地の貸し借り状況報告

京田辺市にある賃貸借権のお知らせをします。

95%は無償の契約です。



昨年は、1020筆ありました。全体の内、約95%が使用貸借(無償)の契約です。
※農地法第52条の規定に基づいた、農地法および農業経営基盤強化法による貸借の情報提供

賃借料は農業委員会などが定めるものではなく、貸し手と借り手の話し合いで決めます。
農地の貸し借りのご相談は、農業委員・農地利用最適化推進委員または事務局まで問い合わせてください。



水取地区



水取



水取地区
堀江 幸和 委員

きれいな水を取っていた地

水取地区は、京田辺市南部の「普賢寺地域」にある旧6村の中央に位置し、普賢寺川に沿うように家屋が並んでいるのが特徴の田園地帯です。

の自転車レース「ツアー・オブ・ジャパン」のスタートラインとすることもあり賑わいを見せます。

約100世帯が暮らしており、その約半分が兼業農家として地域の農地を守っています。水取の名の由来は、昔からこの地域の水が上質で、その水を管理する「水取司」という役を持った人が仕事をした地とこのことです。

地区内には「水取ライスセンター」というお米の集配所（写真）があり、毎年約120トンを玄米にします。

この規模を維持しつつ高齢化に対応できるよう、地域で若い農家への作業指導を積極的に行っています。

地区内には、普賢寺小学校と幼稚園があり計152人が通っていて、年3〜4回、地域の農地を使って子どもたちに農業体験してもらいます。また、普賢寺小学校前は、全国規模

も地域の農地を守っている活動を進めていきます。



『きょうたなべのうぎょう委員会だより』

京都府農業委員会広報コンクール

3年連続金賞受賞!



京都府広報コンクールで、3度目の「金賞」をいただきました。

これも、毎号のアンケート感想や、取材でご協力

いただくみなさまのおかげでございます。

今後もよりよい紙面作成を目指します。

(澤田康夫委員)

プレゼントクイズ

春の味覚

京田辺市の竹林でとれた



たけのこ 3kg

3名様

今号のクイズ

田辺地区で造られていたお酒の名称は?

答え

吹井

(ひらがなでもOK)

応募期限 平成31年4月15日(月)まで(当日消印有効)

発送予定時期 平成31年4月~5月

郵送先 農業委員会事務局 〒610-0393(住所不要)

nougyo@city.kyotanabe.lg.jp

件名:「農業委員会クイズ」

記入内容 ■クイズの答え ■住所 ■氏名

■年齢 ■電話番号 ■ご意見・ご感想

メールアドレスが読み取れます。➡



Q&A No.6

本紙プレゼントクイズでよせられた感想の中で、質問のあった内容にお答えします。



ちさい キッチン

KitcHen

京田辺をおじわうレシピ

前号(80号)で紹介した田辺なす丼のレシピが知りたいとご意見が多数ありましたので掲載します。

80号はコチラから→



材料(2人分)



なす 2本



片栗粉 大さじ2



だし汁 (水+顆粒 だしのもと) 100cc



サラダ油 大さじ2~3



★(5で入れる)

土しょうが(みじん切り) 1/4片



しょうゆ 大さじ1.5



砂糖 大さじ1



水 大さじ2



たまご 2個



いりごま 適量



きざみネギ 適量



ごはん 320g



小学生が
調理実習した
レシピです

田辺 なす丼

作り方

- ゆでたまごをつくる。
沸騰したお湯で10分間ゆでる。
水で冷やし、皮をむき半分に切る。
- なすのへたを取り、1cmの輪切りにする。
塩を2つまみ入れた水に5分さらしたあと、水気を切る。
- ビニール袋に②と片栗粉を入れて、よくまぶす。
- フライパンにサラダ油を入れ、③の両面を焼く。焼き色が付いたら、だし汁を加えてふたをして煮る。
- なすがしんなりしたら別皿に移し、★をフライパンでまぜる。★が沸騰したら、なすを戻してからめる。
- どんぶりにごはん、なす、たまごを入れ、煮汁をかけて、いりごま・きざみネギをふってできあがり。



コツ サラダ油を少し多めにすると、きれいに焼けます。



農業者・農業委員会の意見交換会

12月11日、市内の認定農業者等と農業委員会の委員が一堂に集まり意見交換を行いました。

テーマは「今後の農業をどうしていくか」。意見には、高齢化や担い手不足の問題を若手と議論する、形が悪い・面積が小さい農地の整備を進め活用できるようにする、農業用機械を

地域で共有化するなどができました。

「地元の農地は、地元で守る」を基本に新規就農者を増やし、各地域に合った農業を見つけるため、農業委員会の委員が主体の「地区連絡会議」を足がかりに、各地域が定期的に話し合える場を設けていきたいと思

喜多 義治
会長職務代理者



各地域で課題は違います。

京田辺市産 農業祭

農産物と人が集まり大にぎわい

11月18日、農業委員会では、「儲かる農業」を推進するため、毎年参加している京田辺市産業祭に今年もブースを設けました。

今年は、レモンプロジェクトで栽培しているレモンが不作だったこともあり、京田辺市産のもち米をつかったお餅や団子を販売。

恒例の餅つき実演もたくさんの方が集まってくれて、とても賑わいました。



農委ブース前で行う抹茶入り餅つきの実演には、たくさんの方の観客が集まりました。



体育館前のブースには、たくさんの野菜や加工品が並びました。



山下 明子 委員

また、私たちが住む市南部の普賢寺地域のブースでは、新米の普賢寺米をいつでも楽しめるよう、真空パックで閉じ込めた「ふげんじっこ」を販売しました。

普賢寺ふれあいの駅

1パック2合で4種類。普賢寺ふれあいの駅で販売。

京田辺市産業祭は、それぞれの地域の農産物がたくさん集まっています。来年もぜひ参加して下さいね。

農 業 委 員 会 活 動 報 告



再確認が必要な場合は、複数の目で状況を調査。

農地パトロール

市内の農地を二斉調査 荒廃農地を出さない、残さない。

農業委員会は、各地区の農業委員会の委員が主導して、荒れている農地がないかを定期的に確認しています。

「農地パトロール」は、毎年1回、市内全域の農地を二斉調査し、要確認となった農地の状況をチェックするものです。



一筆、一筆状況が違うため、解決策を考える必要があります。



小田 博 委員

きない農地が増えていくように感じます。一度荒れてしまうと、草だらけとなり病害虫が周りの田畑に飛んでいき、収穫量が減ってしまうなどの被害が出ます。相続などで、農地の管理方法や借り手探しでお悩みの方は、農業委員会の委員へ相談してください。地域の農家への声かけなどでお手伝いします。